



ぬりんちゅ つうしん

塗人通信

☆トーシンリフォームがお客様に贈る 新感覚のニュースレター☆

激旨ランチ 食べある日記 アクアピッツァ

弊社より、車で15分という立地にあるイタリアンレストラン「アクアピッツァ」をご紹介します。とてもアクセスが悪く、車以外での訪問は相当に困難です。

しかも、大通りから奥まっており、そこからの入り口が、分かりにくくて入りにくいという、本当に行きにくい店なんです。

でも、ピザが美味しんです！特に、和風の食材と味付けの創作ピザが絶品です。

定番メニューのマルゲリータなども間違いのないメニューです。

生地のもちもち感と、小麦とチーズの香りが最高です(#^.^#)



住所 厚木市上依知
1605-1
ランチ予算
1200円～2000円
おすすめメニュー
ピザ全てバーニャカウダ

古書探究 斜陽 著・太宰治

本作の主人公のかず子は、貴族出身であったが、敗戦後の華族制度廃止によって没落貴族になった。

慣れない貧困に疲弊する上に、母親の病状は悪化し、戦地から帰還した弟はアヘン中毒で破滅寸前であった。

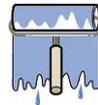
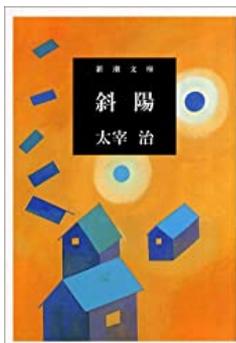
かず子の唯一の希望は、弟の直治が親しく付き合う小説家・上原の存在だった。数年前に一度だけ顔を合わせた際に、かず子は上原にキスをされ、それ以来彼に対する想いが募っていた。

人間は恋と革命のために生まれてきた。そう信じるかず子は、母親の死後、上原に会いに行き想いを伝える。後に子供を授かるもあっさり上原に捨てられる。

同じ頃、弟の直治は自殺してしまっていたが、弟の遺書には、、、

道徳心を捨てて生きたかず子、古い道徳に縛られて死んでいった直治。

多くの太宰治の作品と同様に、本作も救いのない作品です。消化しきれない後味が心に深く残る物語です。



塗装屋社長が雨漏りを考える 塗る事よりも大切な事 No.20



今回は、事務所新築工事レポートの完結編となります。建物を建てるにあたって、特に重視したのは雨漏りをしない事と、低コストである事です。

雨漏りをさせない為の仕組みとして、防水紙を隙間なく貼る事、配線の引き込み部分などは防水テープをしっかりと収めること、コスト削減の為に屋根を片流れ形状にしたので、弱点となる部分に水切りシートを施工するなど、出来る限りの雨仕舞い処置を施しました。

外壁は、窯業系サイディングを採用しました。耐久性だけならば、金属サイディングに分がありますが、建材としての成熟度と、不具合が出てしまった時のメンテナンス性を考慮しての選択です。

内装はあてのビニールクロス仕上げとしました。数年後、内装の壁面に断熱塗料ガイナを塗装する計画です。

最初からガイナを塗ってしまうと、効果が体感できないと考えた為です。

接客スペースは、アウトドアオフィスというイメージで、キャンプ用のテーブルとチェアを配置いたしました。

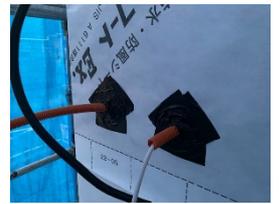
立地が住宅地ですので、外観はシンプルに仕上げました。

以前の社屋の頃よりも、駐車場が広くなりましたので、お車でのご来社もしやすくなったかと思えます。

オリジナルの飛び出し坊やを、自作したのですが、私の娘がiPadでデザインし、弊社の職人でもある、長男と次男が制作しました。会社の宝物です。

皆様のご支援のお蔭様で、弊社は創業23年となりました。これからも着実に歩んで参りたいと思えます。

今後とも宜しくお願い致します。





～小便小僧のひみつ～

小便小僧がどうしてオシッコをしているかご存じですか？
時は14世紀、ベルギーの首都ブリュッセルを包囲した敵軍が火薬の導火線に火をつけたところ、ブラバン公の王子であった、ジュリアンがオシッコをかけて消し、街を救ったという伝説があります。

その王子ジュリアンは、いたずらっ子で有名で、悪童ジュリアンと屋ばれていました。導火線にオシッコをかけて消したのも、ただのいたずらだったのかもしれないですね。

オリジナルの像はブリュッセル市立博物館に収蔵されていますが、グランプラス大広場の噴水の像の方が有名です。

因みに、僅か55センチしかない像なんだそうで、訪れた観光客を驚かせているそうです(*^^*)



現場の本音をぶっちゃけます！

～現役職人営業マン

田中彪の奔走日記～ 第11回



今年も本格的に花粉の季節がやって参りました。どうしてもこの時期になると、花粉に対する記事を書きたくなくなってしまいます!!

今年は例年に比べて非常に花粉の量が多いと報道されているので困っている方がたくさんいらっしゃると思うので、私、田中が活用している対策をシェア出来たらと思います！

鼻詰まりがひどい時は、鼻にティッシュを詰めて、数分待つと鼻詰まりが解消されるという事を見つけました！

少しカッコ悪いですが鼻詰まりの解消には仕方無いです…点鼻薬を先に服用してティッシュを鼻に詰めると尚OK！これで今年はほぼ鼻詰まりが無いです！

目が痒い対策と致しましては、まず、目の洗浄を市販のアイボンなどでしっかり洗浄し、その後目薬をさすと抜群の効果を発揮してくれています！

花粉の時期は、塗装をする際に、目が痒くて手袋を取ったり、くしゃみで作業が止まったり、色々不便はありますがしっかり対策をして頑張っています!!

良い対策方法がございましたら、是非教えて頂きたいです!!

最新の工事写真を更新しているホームページが大好評です。
過去の施工例も満載！
毎日たくさんのアクセスをいただいております！
是非ご覧ください

塗人-てっちゃんこと社長の田中です



マイブームは「ペランピング」

塗人コラム ☆ペンキ屋社長のお仕事日記☆

№55 「職人の育成方法」

職人を育成方法が昔とはずいぶん変わってきました。昔の親方は「技術は見て盗め」という感じの人が多く、新人職人に仕事を教えるという光景は、あまり見られませんでした。

しかし、令和となった現在は、「技術は見て盗め」というような非効率な方法ではなく、事細かに指導するようになってきました。

私の方針は、「まず作業を見せて、作業させて、指摘して、考えさせて、もう一度作業を見せて、作業させて、指摘して、考えさせて…」この流れで一つの作業を伝えていきます。

例えば、右の写真の高圧洗浄ですが、それほど難しい作業ではありません。



しかし、強く水圧をかけすぎると、下地を痛めてしまう可能性がありますし、逆に弱ければ、しっかりと汚れを落とすことが出来ません。

右の写真は、刷毛でシャッターボックスを塗っている所です。実際の現場の作業では、シャッターボックスのような鉄部分はローラー施工にて塗装されることが多いですが、時々、刷毛での施工をすることがあります。



若い職人は、ローラー施工ばかりで刷毛を使用して仕上げる技術が不足している傾向にあります。そういった職人の技術低下を懸念して、非効率であっても、時間的な余裕がある時にある、刷毛での仕上げを経験させるという取り組みをしています。

熟練した職人は、指先に伝わってくる感覚で、塗布量を感じ取ることが出来ますので、塗膜が均一となりますし、刷毛で押し付けながら塗装をすることで、塗料の密着性も上昇します。

このあたりの経験は、YouTubeを見て学ぶという訳にはいきませんので、日々の努力が必要です。



神奈川県知事許可(般-30)第79168号

(株)トーシンリフォーム

相模原市南区下溝1750-3

TEL 0120-775-388

お見積り無料！お気軽にお問い合わせください！